

平成30年度 国立赤城青少年交流の家 教育事業（民間企業等連携事業）

## 「育パパ&育ママ応援ファミリーキャンプ」

### 1. 趣旨

当機構は、体験活動を通じた青少年の自立を目指し、幼児期からの体験活動や基本的な生活習慣の育成について推進するとともに体験の場と機会のさらなる充実について取り組んでいるところである。本事業は、その具体的な事業の一つとして、民間企業等との連携による教育事業等の質的・量的な拡充を図るため、民間企業との共催事業を実施し、民間企業と連携したモデルを構築する。

### 2. 事業の概要

#### (1) 期日

平成30年11月23日（金）～24日（土）

#### (2) 参加者

- ①参加対象 幼児（3歳以上）を含む家族・親子
- ②参加人数 59名（19家族）（応募総数61名）  
東京都13家族、埼玉県4家族、千葉県2家族

### 3. 企画運営のポイント

- ・子供が泣いても気をつかわずに電車に乗りたい親子、自然の中で思いっきり子供を遊ばせたい親子等、そんな親子の思いを形にした三社連携事業とする。
- ・「わくわく親子運動あそび」では、興味・関心を持って、繰り返し遊べるよう、段ボールで作成した場や遊具を用いた8つの場を用意する。
- ・「育パパ育ママ講座」では、国立青少年教育振興機構理事長 医学博士の鈴木みゆき氏をお招きし、演題「子供が賢く元気に育つには」のお話を保護者向けにする。
- ・「絵本の読み聞かせ」では、学生ボランティアによるパジャマへの着替えや歯磨き指導の後、幼児への読み聞かせを行う。
- ・「フォトフレーム作り」では、ぐんまの森の木の実を使って、親子で楽しみながら自由に世界に一つだけの作品を作る。

### 4. 日程

	午前	午後	夜
11月 23日 (金)	浅草駅発一（特急りょうもう号） 赤城駅着	はじまりの会 わくわく親子運動あそび ぐんまちゃんと全員集合写真 ミニキャンドルファイヤー（オブション）	育パパ育ママ講座 講座「子供が賢く元気に育つには」 講師：国立青少年教育振興機構理事長 鈴木みゆき 絵本の読み聞かせ
11月 24日 (土)	フォトフレーム作り テント体験（オブション） たき火体験（オブション） 終わりの会	赤城駅一（特急りょうもう号）浅草駅着	

## 5. 主な活動内容



「トンネルくぐり」



「フラフープけんけんぱ」



「ミニキャンドルファイヤー」



「育パパ育ママ講座」



「絵本の読み聞かせ」



「フォトフレーム作り」

## 6. 成果と課題

### (1) 参加者アンケート結果

満足17名(89%) やや満足2名(11%) やや不満0名 不満0名

### (2) 参加者の声

- ・子供がまた一つ成長したのを実感しました。機会をみてまた参加させていただきたいです。
- ・テント泊にもチャレンジさせたいです。
- ・普段、体験することのないことをまとめて行えて、密度の高い1日を過ごせて、有意義でした。
- ・幼児向けの企画として、とても楽しかった。

### (3) 成果

- ①キャンプに参加しようと思ったきっかけで一番多かったのは、「プログラムに魅力を感じたから」であることから、プログラムの内容は良かった。
- ②「わくわく親子運動あそび」では、子供達の運動量や親子で取り組む様子から見て、興味・関心を持って、繰り返し遊べる場となった。
- ③学生ボランティアが、絵本の読み聞かせや子供の面倒など、細かい点に気を配って動いてくれたことで、参加者から感謝のお言葉をたくさんいただいた。

### (4) 課題

- ①三社連携事業ということで、役割分担を明確にし、連絡調整を密に行う。
- ②幼児向けのタイムスケジュールにする。(主に食事～入浴～講座時間)

担当 企画指導専門職 田村 文明